



2022年1月31日

各位

会社名：株式会社ベガコーポレーション
代表者名：代表取締役社長 浮城 智和
(コード：3542 東証マザーズ)
問合せ先：取締役経営管理本部長 河端 一宏
(TEL：092-281-3501)

2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年1月31日開催の取締役会において、2021年5月14日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	19,000 ～20,500	1,000 ～1,300	1,030 ～1,330	618 ～798	58.49 ～75.52
今回修正予想（B）	16,000 ～16,500	500 ～600	530 ～630	250 ～414	23.80 ～39.42
増減額（B－A）	△3,000 ～△4,000	△500 ～△700	△500 ～△700	△368 ～△384	—
増減率（%）	△15.8 ～△19.5	△50.0 ～△53.8	△48.5 ～△52.6	△48.1 ～△59.5	—
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	19,313	1,824	1,851	1,159	110.99

2. 修正の理由

当第3四半期会計期間までの売上面におきましては、前年度における新型コロナウイルスの影響による需要増からの反動減がありつつも、旗艦店の流通総額は前年同期を上回り推移する等、戦略上重視している販売チャネルの旗艦店シフトに関しては順調に進捗しております。しかしながら、9月末をもって緊急事態宣言の全面的な解除がなされる中、需要が当初計画を下回って推移しており、同時に、旗艦店における取扱商品点数の増加に伴うユーザーインターフェース調整の必要性が生じていることから、通期の売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面におきましては、原価上昇局面にも関わらず、配送費率の改善が奏功し、限界利益率は当初想定範囲内で着地する見込みであるものの、上記売上高の下振れに伴い固定費の比率が高まりました。他方、前回発表予想時には、中期的な流通総額の拡大を企図して、最大 500 百万円を採用、サービス強化及びマーケティング費用として追加的に支出する計画としておりましたが、売上高見通しの引き下げに伴い、当該追加的な支出を 200 百万円程度に抑える計画といたしました。これらの結果、営業利益、経常利益、当期純利益及び 1 株当たり当期純利益は、当初発表予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上